

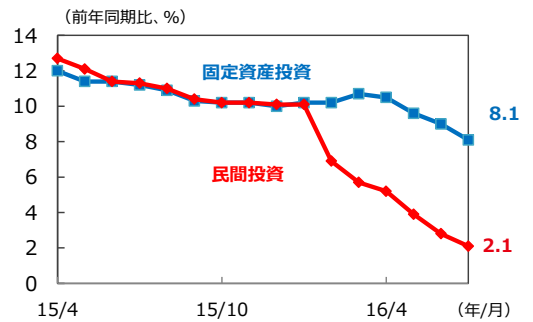
今日のトピック 最近の指標から見る中国経済（2016年8月）

中国当局は財政政策で景気支援へ

ポイント1 **固定資産投資が減速**
民間投資が急減

■ 1～7月の固定資産投資は前年同期比+8.1%と、1～6月（同+9.0%）よりも伸び率が一段と縮小しました。固定資産投資全体の6割を占める民間投資の伸びが同+2.1%と、今年に入って急減速しているためです。景気の先行きに不透明感が高まる中で、民間企業が投資に慎重になっている模様です。

固定資産投資と民間投資



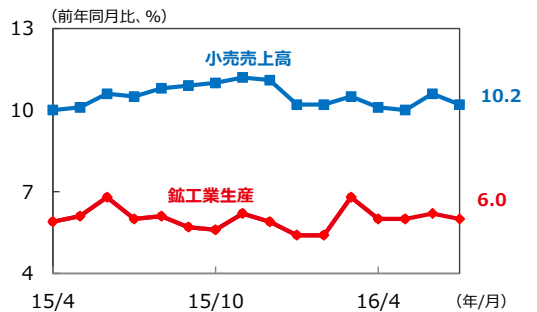
(注) データは2015年4月～2016年7月。年初来累計の前年比。1月、2月は1-2月平均の前年同期比。数字は2016年7月。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 **鉱工業生産も伸びが鈍化**
小売売上高も伸びが鈍化

■ 7月の鉱工業生産は前年同月比+6.0%となり、6月（同+6.2%）より伸び率が鈍化しました。市場予想（+6.2%、ブルームバーグ集計）を下回りました。

■ 7月の小売売上高も、前年同月比+10.2%と、6月（同+10.6%）と比べて伸び率が縮小しました。ただ、2桁の伸びを維持しており、引き続きしっかりしています。

鉱工業生産指数と小売売上高



(注) データは2015年4月～2016年7月。1月、2月は1-2月平均の前年同期比。数字は2016年7月。
(出所) 中国国家统计局のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 **先行きは景気対策で持ち直しへ**

■ 7月の主要経済指標は、軒並み前月からの減速を示しました。習近平指導部が構造改革路線を掲げていることで、政策に敏感な民間企業が投資に慎重になったことが背景にあると考えられます。また、鉱工業生産や固定資産投資の減速は、長江の洪水被害の影響も受けていると見られます。

■ これに対し、中国当局は7月26日、共産党中央政治局会議で、適度な総需要の拡大を強調しつつ、政策姿勢を景気支援に傾けることを機関決定し、財政政策を重視する方針を示しました。足元の景気減速に対し景気対策が講じられることで、中国景気は先行き持ち直すと期待されます。

ここもチェック! 2016年8月 3日 中国の「PMI」(中国)
2016年7月20日 最近の指標から見る中国経済 (2016年7月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。